

■診療実績データの分析結果（イメージ）～見方②『表の読み方』～

No	医療機関施設名	設置主体	合計病床数	病床稼働率（高度急性期・急性期）	回復期病床数	慢性期病床数	休棟中等病床数	急性期病床数	高度急性期病床数	人口区分	A 診療実績が特に少ない											B 類似かつ近接する					再検査要請対象医療機関（●）							
											がん	心血管疾患	脳卒中	救急	小児	周産期	災害	へき地	研修・派遣	がん	脳卒中	救急	小児	周産期										
1	〇〇市〇〇病院	公立（市町村）	100	70%	0	100	0	0	0	〇	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	〇〇医療センター	公的（国立病院機構）	240	79%	0	100	110	30	0	〇	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
3	独立行政法人〇〇医療センター	公立（地方独立行政法人）	135	75%	0	100	35	0	0	〇	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
4	△△病院	民間（地域医療支援病院）	263	89%	0	94	87	82	0	〇	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
5	〇〇赤十字病院	公的（日赤）	500	80%	230	270	0	0	0	〇	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
6	独立行政法人国立病院機構△△医療センター	公的（国立病院機構）	610	87%	610	0	0	0	0	〇	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
7	〇〇済生会病院	公的（済生会）	405	83%	15	390	0	0	0	〇	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

（脳卒中）
 【下の項目】脳血管内手術で「特に診療実績が少ない」に●
 超急性期脳卒中加算、クッシング術等、開頭血腫除去術で
 「類似かつ近接」に●
 ⇒【上の項目】B「類似かつ近接」に●

（がん）
 【下の項目】全て項目で「特に診療実績が少ない」に●
 ⇒【上の項目】B「類似かつ近接」に●

下の項目「特に診療実績が少ない」すべてで
 447●とされた場合、上の項目に●とする。

下の項目すべてで「特に診療実績が少ない」に●または「類似かつ
 近接する医療機関あり」に●とされた場合、上の項目に●とする。

No	医療センター	実績の実数															分析項目ごとの「診療実績が特に少ない」への該当							分析項目ごとの「類似かつ近接する医療機関あり」への該当						
		がん	心血管疾患	脳卒中	救急	小児	周産期	がん	心血管疾患	脳卒中	救急	小児	周産期	がん	心血管疾患	脳卒中	救急	小児	周産期	がん	心血管疾患	脳卒中	救急	小児	周産期					
1	〇〇市〇〇病院	0	0	0	0	0	0	130	0	0	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
2	〇〇医療センター	*	0	0*	0	0	0	850*	0	0	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
3	独立行政法人〇〇医療センター	*	0	0	0	0	0	630*	0	0	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
4	△△病院	*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
5	〇〇赤十字病院	17	17	23*	0	0	0	0	2760*	1450	48	28	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
6	独立行政法人国立病院機構△△医療センター	14	*	17	23*	0	0	0	0	0	2760*	1450	48	28	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
7	〇〇済生会病院	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					

①

②-1

②-2

「特に診療実績が少ない」と
 された項目を●とする。

「類似かつ近接する医療機関あり」
 とされた項目を●とする。
 （「特に診療実績が少ない」）